

住宅地の計画・設計

目 次

- 1 概要
- 2 計画・設計条件
- 3 提出物
- 4 図面表現上の一般的注意
- 5 スケジュール
- 6 実習遂行上の全般的注意
- 7 参考図書・資料
- 8 図面とレポートの形式

指導教官

大村謙二郎, 小場瀬令二, 藤川昌樹, 村尾修, 吉田友彦, 渡辺俊

担当技官／T A

加島倫, 北原その美／小野, 土田

教 室

3A-405, 3C-402, 403, 405, 406

授業時間

木曜日5～6, 金曜日3～5時限

1 概要

1-1 実習の目的

集合住宅の製図課題を通じて、図面の描き方、設計者の設計意図、間取り、住棟配置の収まり等を学習するとともに、住宅地の設計課題を通じて、地区スケールの計画・設計方法・デザイン技法・プレゼンテーション手法等を習得する。

1-2 設計課題の主旨

本年度の設計課題対象地は、港区白金一丁目東地区である。古くは準工業地域として栄えたが、バブル期に空地化が進みミニ開発が行われてきた。現在は第一種市街地再開発事業が進行中であり、最近の都心部での複合再開発に習い、超高層による住宅・オフィス棟等の計画案が描かれている。そこで、白金という場所の歴史性・周辺環境を踏まえ、都心立地を活かした21世紀の新しいライフスタイルを見据えた業務施設・都市居住環境を提案してほしい。具体的には、課題説明書の計画・設計条件に従って住宅施設その他を計画するが、アイデアに応じて計画・設計条件の変更を提案しても良い。

2 計画・設計条件

2-1 敷地の条件

- (1) 当該街区は、附図に示す通り。
- (2) 対象地面積 約25000m²
- (3) 道路の変更は可

2-2 設計条件

2-2-1 住宅施設

- (1) 住棟形式： 特に定めない
- (2) 階数： 特に定めない
- (3) 構造： 特に定めない
- (4) 戸数： 400～600戸程度
- (5) 住宅規模： 3種類
 - 50.0m² 小規模世帯用 20%程度
 - 100.0m² 普通世帯用A 50%程度
 - 120.0m² 普通世帯用B 30%程度

2-2-2 商業・業務施設

地下鉄駅前立地を活かした15000m²以上の商業・業務施設を計画する。
単に必要な面積を確保するだけでなく、想定される商業・業務内容について提案する。

2-2-3 工場

地元産業の振興育成と環境を配慮した工場を10000m²以上確保する。

2-2-4 公共空地

まとまったオープンスペースもしくは広場を1500m²程度確保する。

2-2-5 駐車場

住宅用300台、商業・業務用100台、計400台以上の付置駐車場を確保する。

2-2-6 その他の施設

提案する新しい業務・ライフスタイルに必要と思われる施設を、各自で企画・提案する。

2 - 3 配置計画

各施設の配置計画は、周辺道路・歩行者動線・公園・近隣施設等について、敷地周辺の現状および将来変化を十分に考慮して行うこと。また、地下鉄駅との関係についても考察すること。

3 提出物

3-1 中間提出物

3-1-1 見学会レポート

- (1) レポートは、全てA4版を用いる。
- (2) 写真、スケッチ、および図面を利用して多面的にプレゼンテーションすること。

3-1-2 製図課題

- (1) 図面は、配置図・平立面図・立断面図・平面詳細図の計4枚を配布する。
- (2) この内、平立面図・立断面図の2枚をケント紙にコピーする。
希望者はコンピュータ(VectorWorks, JW-CAD)で描いても良い。

- (3) 配置図は着彩し、ショウ・ドローイングとして仕上げる。
希望者は、コンピュータ(Photoshop, Illustrator, VectorWorks)で行っても良い。
- (4) 平面詳細図は、コピーの際の参考とする。
- (5) 学生にはA1のケント紙を2枚ずつ配布する。

3-1-3 中間発表会

- (1) 住棟等の配置計画・動線計画を示すエスキース図
- (2) ボリューム模型 (スケール 1/500)
- (3) エスキースのためのトレーシングペーパーは、学生間で共有する。

3-2 最終提出物

3-2-1 図面

- (1) 配置図 (スケール 1/500)
- (2) 地区断面図 (スケール 1/500) 2面
- (3) 住棟基準階平面図 (スケール 1/100) 典型となる棟
- (4) 住棟立面図 (スケール 1/100) 典型となる棟 2面以上
- (5) 住棟断面図 (スケール 1/100) 典型となる棟 1面以上 (原則として長手方向)

3-2-2 設計説明書

- (1) A4版を用い、設計意図を書くこと。
- (2) 住戸・住棟計画、動線図、緑地計画図、周辺環境との関係について説明する。
- (3) 各施設の面積表を含めること。

3-2-3 模型

- (1) プレゼンテーション模型 (スケール 1/500) とすること。
- (2) B2版の木製パネルに仕上げ、立掛けても崩れないこと。

4 図面表現上の一般的注意

- (1) 図面のサイズは、全てA1版を用いる。パネル化はしない。
- (2) 図面用紙はケント紙または青焼紙の何れでも良い。
- (3) 図面はインキング・着彩等を施し、ショウ・ドローイングとして仕上げること。
- (4) 文章説明は、図面中に書き込むこと。文字も図面の構成要素として考慮する。
- (5) 図面には次の項目を必ず入れること。
 - スケール
 - 方位
 - 図面名称
 - 凡例
 - 学籍番号・氏名
 - テーマ名称「住宅地計画 2002」とする。

5 スケジュール

9月 5日(木)	課題説明・夏期研修報告
9月 6日(金)	講義（設計製図の基礎・渡辺） 製図 1
9月12日(木)	講義（集合住宅のデザイン・大村） 製図 2
9月13日(金)	見学会1（設計課題地・六本木ヒルズ）
9月19日(木)	製図 3
9月20日(金)	製図 4 見学会1 レポート提出
9月26日(木)	講義（集合住宅の設計方法・小場瀬） エスキース 1 製図課題提出
9月27日(金)	見学会2（丸の内再開発地区）
10月 3日(木)	エスキース 2 見学会2 レポート提出
10月 4日(金)	講義（模型の作り方・藤川） エスキース 3
10月10日(木)	作業 1
10月11日(金)	作業 2（環境計画分野修論中間発表会）
10月17日(木)	作業 3
10月18日(金)	中間発表会
10月24日(木)	エスキース 4
10月25日(金)	講義（住戸計画の基礎・吉田） エスキース 5
10月 31日(木)	エスキース 6
11月 1日(金)	講義（設計プレゼンテーション・村尾） 作業 4
11月 8日(木)	作業 5
11月14日(木)	作業 6
11月15日(金)	最終発表会
11月29日(金)	設計課題最終提出

6 実習遂行上の全般的注意

- (1) 本説明書の内容やスケジュールは、必要に応じて変更や追加が行われることがあるので、常時掲示等に注意すること。
- (2) 提出図面等の成果物は各人が個人単位で作業し、作成するものとする。
- (3) 中間発表時の作品、最終発表時の作品はWWWに載せる予定である。

必要に応じてWWW上に参考資料等を掲示するので各人コンピューター上で見るように
(但しハードコピーをやたらとしないこと)

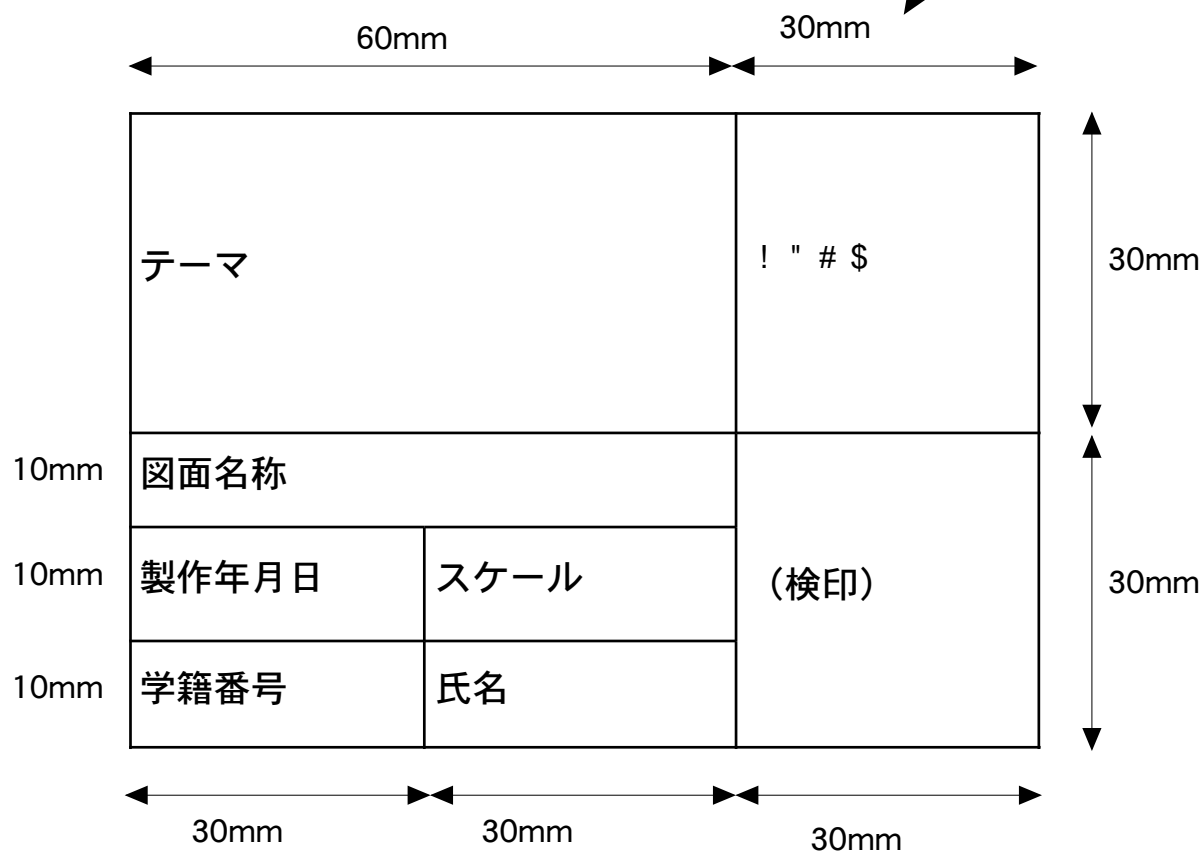
参考になりそうなサイトとしては、たとえば

- ・「都市景観データベース」ならば先輩がつくってくれた
<http://townscape.sk.tsukuba.ac.jp/>があります。
- ・学芸出版社の「建築・土木・まちづくりインターネットアドレスブック」
<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/link/index.htm>
- ・Progress社の「海外ランドスケープフォトライブラリ」
<http://www.aims-system.co.jp/progress/>
有料のやつです。
- ・大京のQuickTimeVRを使ったページ「ヴァーチャルモデルルーム」
<http://www.daikyo.co.jp/vmr/area/allarea.html>
インストールが若干面倒ですが、それなりにおもしろいです。

ハードな本ならば、

- ・建築設計資料集成 日本建築学会 丸善
- ・タウン・デザイン フデリツクギバード 鹿島出版会 高瀬・高橋・日端・福川・平沢（訳）
- ・住環境の理論と設計 田畑貞寿・池田亮二 鹿島出版会
- ・建築設計チェックリスト 彰国社
「集合住宅」
- ・都市の低層集合住宅 フーベルト・ホフマン 鹿島出版会 北原理雄訳
- ・タウンハウスの計画技法 高見沢・猪狩・永田 彰国社
- ・コミュニティとプライバシー S. シヤマイフ 鹿島出版会 C. アレキサンダー岡田新一訳
- ・都市計画図集 日本都市計画学会 技報堂
- ・土木工学ハンドブック 日本土木学会
- ・都市計画道路計画標準
- ・ランドスケープマニュアル
- ・都市住宅、建築文化、デザイン等の雑誌のバックナンバー
- ・建築術1～5建築術 編集委員会 彰国社
- ・建築設計ノート 西日本工高建築連盟編 彰国社
共同住宅、公民館、体育館
- ・DA建築図集 日本建築家協会 彰国社
低層集合住宅

8 図面とレポートの形式



注)

1. このサイズ (841×594) をA1版という。提出する図面は、全てこのサイズとする。
2. 縦、横の空欄は、図面の説明のための文章、数表、図表、スケッチ等を書き込むためのものである。
3. 提出するレポートは、全てA4版とし、表紙にはテーマ、学番、氏名、指導教官を必ず記載する。

